

師団競技会 躍動する大村部隊！！
第16普通科連隊 武道競技会「総合優勝」、銃剣道「優勝」
第4施設大隊 炊事競技会「優勝」

2月の27日28日、大村部隊の上級部隊である第4師団主催の師団競技会が開催されました。

第4師団は、北部九州の防衛警備を担当する部隊で、その隷下部隊（指揮下にある部隊）は、福岡、北九州、別府、久留米、大村、対馬に所在しています。

その部隊から、種目ごとの代表者が参加した競技会が行われて、部隊の精強度を競い合いました。競技種目は、団体戦が「銃剣道」、「拳法」、「炊事」、個人戦が「銃剣道」、「拳法」、「柔道」、「剣道」です。

その競技会において、大村部隊の第16普通科連隊が、銃剣道「優勝」、拳法「準優勝」で武道競技会「総合優勝」、第4施設大隊が、炊事競技会「優勝」、銃剣道「準優勝」、拳法「準優勝」と、すばらしい好成績をあげてくれました。第16普通科連隊と第4施設大隊は、部隊規模の違いからカテゴリーがAGpとBGpと違いましたが、それぞれに大健闘です。因みに第4施設大隊のBGp優勝は、対馬警備隊であり、長崎県勢がほぼ上位を占める結果となりました。対馬警備隊は、同じ長崎県に所在する普通科部隊として第16普通科連隊長としては兄弟部隊のような存在ですので、悔しい反面嬉しくもあります。

師団競技会は、所詮、北部九州に所在する陸上自衛隊内の戦いだらうと思われるかもしれませんが、しかし、この北部九州に所在する部隊はいずれの部隊も強豪ばかりで、全日本自衛隊大会においても競い合うような部隊がそろっており、また、同じ部隊の隊員が応援する中で戦うという緊張感もあり、全日本クラスの戦い以上に厳しい大会なのです。

昨年度、惨敗に終わったことから、色々な対策をこじりました。その対策として、大村市出身のフリーダイビング世界記録保持者「木下沙佑里」さんに講演頂きました。木下さんのメンタルのコントロールは、とても参考になりました。私は、試合直前に「最大限集中して、最高にリラックス」という木下さんの言葉を引用して、普段通りの自分で勝ちに行けと声を掛けました。一流になるためには、一流に触れること。今大会を通じて再認識をしました。

「生々躍動」大村部隊は、やはり強いです。

これからも大村部隊は、躍動します！

第16普通科連隊長兼大村駐屯地司令
1等陸佐 南野 延寿